

小代中だより

「自ら未来を切り拓く
心豊かな生徒の育成」

香美町立小代中学校

No. 3 令和7年6月19日

～ 体験から学ぶ ～

3年生、2年生は先日、修学旅行、トライやる・ウィークという大きな2つの体験学習を無事に終えることができました。1年生はうへ山の棚田での田植えを半日かけて行いました。どの学年も実体験でしか得られない学びが多くあったことと思います。今後は体験から得られた気づき、感動を自己の成長に繋げることが、大切になってきます。そのためにも、しっかりと振り返り、気づきや課題を自分の言葉で表し、まとめていきましょう。

修学旅行

3年生は、5月28日～30日の3日間東京方面へ修学旅行に行ってきました。行く先々で見るもの学ぶものが多く、充実した3日間となりました。初日に東京駅を降りて、まず人の多さに驚き、何とかはぐれないように、前の人について歩きました。3年生が出発前に用意したピンクの「JR」の三角の小さな旗がどこに行ってもとても目立ち、安心感がありました。どこの見学地でも、誰一人集合時間に遅れることなく、とてもスムーズに移動することができ、予定通りに行程を進めることができました。素晴らしかったです。



日本の首都東京は、普段私たちが暮らしている町とは、全く環境が異なります。人の多さ、海外旅行者の多さ、朝の通勤ラッシュ、複雑な都内の地下鉄の路線、様々な施設、街のにぎわいを直に見て、その中に身を置くことで、東京を実体験しているな、と感じたのではないのでしょうか。テレビやタブレットの画面で見る東京と自分の目で見る東京は、明らかに違います。施設の広さ、混み具合、匂い（空気）、周りから聞こえる言葉、背の高いビル群、都会の中を歩きながら、いろいろなことを考えたのではないのでしょうか。

修学旅行で見たこと、感じたこと、体験したこと全てはとても貴重な学びとなります。何に感動するのか、何に疑問を感じるのかは人それぞれです。修学旅行中の皆さんの表情を見ると、とても充実している様子がうかがえました。どのようなまとめが仕上がるのかとても楽しみです。

保護者の皆さまには、早朝の八鹿駅までの送り、遅い時間のお迎えと、大変お世話になりました。「おかえり！」と笑顔で迎えてくださった保護者の皆さんの声に、生徒は何よりもほっとしていたことと思います。ありがとうございました。

トライやる・ウィーク

6月2日～6日の5日間、2年生はトライやる・ウィークで小代区内の4事業所（小代認定こども園、いこいの里、吉滝キャンプ場、こぶし園）

で職場体験をさせていただきました。わずか5日間の体験ですが、生徒にとっては働く大人の姿を見て、直接指導していただくとても貴重な体験となりました。生徒は5日間の職場体験で学んだことを、今度は整理し、言葉で表し、発表するという「まとめ」に入ります。言葉で表現することで、思考は明確になり、それを人に伝えることで、経験が共有され、学び



合える活動になります。伝える人は多ければ多いほど良いものです。まずは家族に、友達に、先生に、たくさん何をして、どうだったのかの話をしてほしいと思います。

「先を見通す」 トライやる・ウィークを通して、意識してほしいこととして、担任の先生からお話しされたことが、この「先を見通す」ということでした。先を見通すということは、この先どんなことがあるかを理解して、何をしておけばよいのか考え、準備しておくことです。なかなか難しいことですが、自分なりに予測を立てて、考え準備することができることは、何をするにもとても役に立つことです。学習においても、スポーツにおいても、生活においても、先を見通すことを意識することで心に余裕が生まれます。トライやる・ウィークは、単に仕事の体験だけでなく、このような「先を見通すこと」であったり、「大人とのコミュニケーション」であったり「粘り強く取り組むこと」「礼儀、マナー」など多くのことを体験できる場でもあります。体験を体験で終わらせることなく、自分の成長の糧となるよう、これからも大切に感じたことは生活の中で意識していきましょう。

生徒たちのために、5日間の職場体験の場をご提供いただきました事業所の皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

1年生 うへ山の棚田で田植えをしました！



5月22日（木）1年生10名で、うへ山の棚田の田植えに行ってきました。小林良斉さんの指導の下、棚田での田植えを体験させてもらいました。まっすぐに苗が植えられるよう、両側から細い縄をぴんと張ってもらい、印のあるところに植えていきます。もちろん手や足は泥んこになりますが、そんなことも忘れるくらいみんな一生懸命に苗を植えていました。植え終わった後の田んぼを見るととても達成感がありましたね。これからどんどん成長し、秋には黄金色に実ると思う

うととてもわくわくした気持ちになります。私はこのうへ山の棚田の風景が大好きです。見ているだけでも心が和みます。畔の草刈りや田んぼの整備など、この美しい棚田を保全してくださっている方々には心から感謝の気持ちでいっぱいです。生徒たちも、ここで田植えをしたこと、ここで見た景色は大きな大きな心の財産となるものと思います。

残酷マラソンボランティア

今年も3000人を超えるランナーの皆さんが残酷マラソンに参加されました。小代中学校の生徒もボランティアとして参加しました。ゴールテープ、給水所、ソーメン、お花などそれぞれの場所で、精一杯動き、たくさんの方から「ありがとう」の声をかけていただきました。みんな1時間を超えた頃から次第に疲れてきたと思いますが、笑顔で「おかえりなさい」「ソーメンどうですか」と声をかける様子に、生徒の皆さんの一生懸命さが感じられ、きっとランナーの皆さんも気持ちいいだろうな、と思いました。毎年全国から多くの方が参加されるこのマラソン大会の魅力は、小代の自然と人の温かさによるものなのだと思います。生徒の皆さんの頑張りがキラキラと光るマラソン大会でした。



「学校における働き方改革の推進」について（小代中ホームページにも掲載しています。）

先月保護者の皆さまには、兵庫県教育長及び県内各市町教育長の共同メッセージ「学校における働き方改革の推進」についてのパンフレットを配布させていただきました。本校におきましても、全ての教職員の超過勤務時間が月45時間以内となることを目標とし、働き方改革を推進してまいります。水曜日を定時退勤日とすることや、金曜日をノー会議デーとするなど、学校での取組も進めていきます。相談・連絡等につきましても、急を要する場合を除き出来る限り勤務時間内にお願いできればと思います。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。